光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

トラスツズマブ+イリノテカン療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	乳癌		
開始年月日	年　月　日	1 コース期間	トラスツズマブ　21 日間 イリノテカン　28 日間
体格	身長　cm　体重　kg　体表面積　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	中等度	制吐剤	**パロノセトロン注** **+デキサート注 6.6mg**
特記事項	【イリノテカンの遺伝子多型】 遺伝子多型（複合ヘテロ及びホモ）では減量を考慮 複合ヘテロ：(*6/*28)　ホモ：(*6/*6)(*28/*28) ※【トラスツズマブ投与時間について】 初回 90 分、2 回目 60 分、3 回目以降は 30 分まで短縮可能 【トラスツズマブ投与量について】 投与予定日より 1 週間を超えた場合は初回量（8mg/kg）での投与を行う 【トラスツズマブ投与における心機能検査について】 心エコーを実施する（心疾患あり：6-8 週毎、心疾患なし：12 週毎）		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール			
			Day 1	Day 8	Day 15	Day 22
イリノテカン	mg（40-60mg/body） ※100mg/㎡まで増量可	90 分	●	●	●	×
トラスツズマブ	初回　mg（8mg/kg）	※	●	×	×	
	2 回目以降　mg（6mg/kg）					

【処方が必要な内服薬】

※初回のみ　ジクロフェナク坐薬 25 ㎎　トラスツズマブ開始 30 分前
※2 回目以降必要時　カロナール（200）2 錠　発熱時
マグミット 330mg　6 錠 3×毎食後　/3 日間
ｳﾙｿﾞﾃﾞｵｷｼｺｰﾙ酸錠 100mg　3 錠 3×毎食後　/3 日間
炭酸水素ナトリウム錠 500mg　3 錠 3×毎食後 2 時間　/3 日間

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿